

「地区大会」

第2607回例会 2025-26年度第2回

2025-26年度RI会長メッセージ



Review

「ロータリークラブ会長は」

フランチェスコ・アレツツオ RI会長

「ロータリーとは何か」

よりよい地域づくりをめざす 「世界を変える行動人」の集まり

「浪江ロータリークラブの目標は」

泉田ガバナーの支援体制の確立と役割の遂行

「ロータリークラブのロータリーとは何か」

1905年アメリカシカゴ発足した会合を会員の事務所を順番に輪番制で使用したことに由来。

「ローテーション（輪番）」「ロータリー（回る）」という名前が自然に定着。



—プロフィール—

- 氏名 泉田 征慶 (いづみだ ゆきたか)
- 生年月日 1966年12月23日
- 所属クラブ 浪江ロータリークラブ
- 職業分類 土木建設業
- 事業所名 株式会社 泉田組

地区大会のご案内

Rotary
DISTRICT 2530

2025-26年度 国際ロータリー第2530地区

よいことの
ために
手を取りあう

地区大会

UNITE FOR GOOD

2025年

10月25日(土)

(ホテル丸屋プランデ)

1日目

地区リーダー
研修セミナー
あけ や生 ゆみ
明山 友美 氏

ヒューマンネットワークサービス株式会社 代表取締役社長
 1997年 全日本空輸株式会社入社、国際線空室東路線として業務。
 チーフリーダー、外国人新規コーディネーター等を歴任。
 2006年 全日本空輸株式会社退職。
 日本航空株式会社入社、国際線空室新規として業務。
 2007年 ヒューマンネットワークサービス株式会社を設立。
 ロゴマーク

2013 14年春 実施中学生ローラーラグビー大会
 2021 22年夏 地区公共イメージ基幹会員
 「世界のオーナーネットワークプロジェクト」実行委員長
 2022 24年春 地区経営委員会 副会長
 2023 24年春 地区中学生ローラーラグビー 会長
 2025 26年春 RIJ75周年 地区理事
 2017 18年春と2019 20年春は、イタリアにおけるローラーラグビー普及に参加。
 2021 22年春と2023 24年春は、「世界のオーナーネットワークプロジェクト」実行委員長
 2023 24年春は、ワールドローラーラグビーワールドカップ2023に日本代表のローラーラグビーチームとして出場。
 2024 25年春 バキヌスににおけるローラーラグビー普及に参加。
 2024 25年春 International Service Award for a Polio-Free World 受賞

2025年

10月26日(日)

(浪江町地域スポーツセンター)

2日目

地区大会
記念講演
隈 けん ご
隈 研吾 氏

1954年生れ。
 1990年、篠路町建築都市設計事務所設立。

鹿児島大学教授、東京大学教授を経て、
 現在、東京大学特別教授・名誉教授、日本芸術院会員。
 50を超える国々でプロジェクトが進行中。

主な著書に
 『隈研吾 オノマトペ 建築 接地性』(エクスナラッジ)
 『日本の建築』(岩波新書)、『全世界』(大和出版)
 『点・線・面』(岩波書店)、『育てる建築』(岩波書店)
 『自然な建築』、『小さな建築』(岩波新書)、他多数。

地区大会記念
ポリオチャリティー親善ゴルフ大会

2025年10月4日(土)
於:五浦庭園カントリークラブ

ポリオチャリティー親善ゴルフ大会

申込締切：2025年8月22日（金）必着（最大30組120名まで先着順）

★地区大会専用 e-mailアドレス：24-25tikutaikei@ri2530.com

地区大会の目的

「クラブ会員がロータリーの最新情報や地区内の活動状況について学び、ほかのクラブのロータリアンと交流することです。」

プログラム

10月25日(土) 第1日 会場: ホテル丸屋グランデ

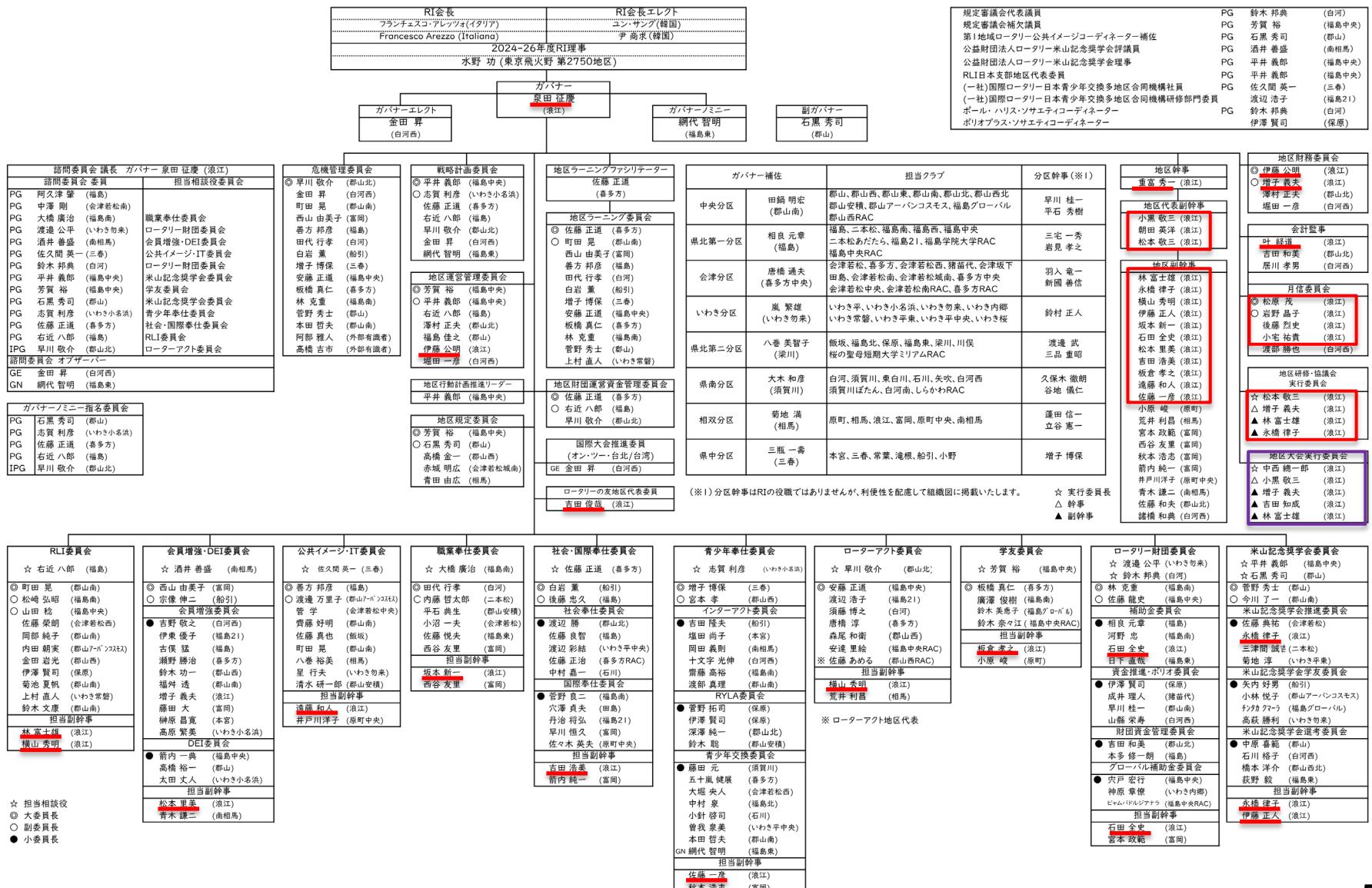
- 地区大会委員会・諮問委員会
- 会長会
- 本会議
- 地区リーダーラーニングセミナー
- R I 会長代理歓迎晚餐会

10月26日(日) 第2日 会場:浪江町地域スポーツセンター

- 本会議
- 青少年会議
- エクスカーション

2025-26年度 国際ロータリー第2539地区 組織図

2025年6月20日 現在



2025-26年度 地区大会実行委員会組織図

大 会 日 時 : 2025/10/25~26

大 会 1 日 目 : ホテル丸屋グランデ

大 会 2 日 目 : 浪江町地域スポーツセンター

地区大会実行委員長 中西 総一郎		
		地区大会幹事 小黒 敬三
副実行委員長	副実行委員長	副実行委員長
総務 (大会前・開催中・大会後)	大会初日統括 吉田 知成	本大会統括 林 富士雄
増子 義夫	副:八島 貞之	副:八島 貞之

委員会名	委員長	副委員長		事業期間		
				大会前	大会初日	本大会(2日目)
記念ゴルフ委員会	佐藤 浩宗	坂本 新一	富岡RC	○		
情報・記録誌委員会	吉田 俊哉	佐藤 智哉	相馬RC	○		
記念事業委員会	松本 敬三	小黒 敬三		○		
プログラム・広報委員会	小丸 真司	重富 秀一		○		
表彰委員会	松原 茂	吉田 政輝		○		○
受付・接遇委員会	伊藤 正人	吉田 浩美	原町RC	○	○	○
登録・宿泊委員会	松本 里美	後藤 烈史		○	○	○
会場設営委員会	金澤 文隆	松本 敬三		○	○	○
交通・駐車場委員会	横山 秀明	板倉 孝之	南相馬RC		○	○
大会マネージメント委員会	林 富士雄	吉田 知成				
晚餐会委員会	岩野 晶子	松本 里美	原町中央		○	
エクスカーション委員会	永橋 律子	松本 里美				○
飲食・弁当・発注委員会	吉田 政輝	坂本 新一			○	○
救護委員会	樋口 利行	鈴木 恭一		地区大会幹事 小黒 敬三		
会計委員会	増子 義夫	馬場 貴史		地区大会幹事 小黒 敬三		

地区ガバナー



地区大会の**主宰者はガバナーです**。大会は、ロータリーと財団が提供する奉仕の機会を紹介し、クラブレベルを超えてロータリーの活動に参加するよう出席者に奨励します。大会に先立ち、あらゆる機会を利用して地区内ロータリアンに大会への出席を呼びかけを行います。

地区ガバナーの責務(ガバナー就任前に行う責務も含まれます)

- 1 ガバナーエレクト年度中に、**地区大会委員会の委員長と委員を任命する**
- 2 ガバナーエレクト年度中に他地区の大会を訪れ、アイデアを得る
- 3 ガバナーノミニーを地区大会委員会に含め、大会でノミニーを紹介する
- 4 ホストクラブの会長と相談の上、**地区大会幹事を任命する**
- 5 ガバナーエレクトにプログラムに参加してもらう
- 6 地区大会の**立案、組織、実施を監督する**
- 7 地区大会委員会と協力し、総合的かつ均整のとれたプログラムを立案する
- 8 地区大会への出席を奨励する
- 9 エイド(補佐役)の任命も含め、RI会長代理夫妻には、RI会長にふさわしい歓待と礼儀をもって接するよう計らう
- 10 他地区のガバナーエレクトを地区大会に招待し、次年度の地区大会の参考としてもらう
- 11 新クラブも含め、地区内の全クラブの代表が地区大会のプログラムや活動に出席するよう計らう
- 12 大会の前後および会期中に、地区広報委員会が地元のメディアに働きかけ、地区大会について地元への周知を図る
- 13 適切な場合には、地元を代表する人を地区大会に招く
- 14 地区大会で、意欲を喚起するような講演を行う
- 15 地区大会での決議をまとめ、大会終了後30日以内にそれを月信に載せて地区内のクラブおよびRIIに報告する
- 16 会長代理に関する極秘の報告書をRI会長に提出する(記入用の書式は会長室から送付される)

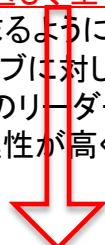
地区大会委員長・委員会



地区大会委員会地区大会委員会は、ガバナーの指導の下、可能な限り多くのロータリアンに出席してもらうことを目標に、**地区大会の計画、推進、手配**を行います。

大会委員長、委員会の責務

- 1 地区大会小委員会を任命し、責務を委任する(適切な場合)
- 2 大会の成果と次年度への提案について話し合うため、大会終了時にRI会長代理と会合する
- 3 地区大会の会場選び、全手配の調整にあたる
- 4 多くの出席者が集まるように、地区大会の財務の調整にあたる
- 5 特に新会員と新クラブに対して大会への出席を奨励し、地区内の全クラブから 代表者が出席するように努める
- 6 メディア、地域社会のリーダー、ロータリープログラムの参加者など、外部の人々 にも地区大会を推進する
- 7 参加者にとって関連性が高く、意欲を高め、情報豊かなプログラムを提供する



10月25日 (土)
第1日 会場：ホテル丸屋グランデ

■ RI会長代理歓迎晩餐会

試食アンケート
(お帰りの際、この用紙を事務局へご提出ください。
10/25の晩餐会の参考にさせていただきます)

食事の質 満足 妥当 不満足 (理由：)
食事の量 多い 適量 少ない
その他、ご意見をお聞かせください。

地区大会幹事



地区ガバナーの責務(ガバナー就任前に行う責務も含まれます)

4 ホストクラブの会長と相談の上、**地区大会幹事を任命する**

conclusion

「地区大会の目的は」

ロータリーの最新情報や地区内の活動状況についての学びの場

第2530地区60クラブのロータリアンとの交流の場

「日本はロータリー世界史の中で“例外的なスピード”で発展」

日本の第1号クラブ（東京ロータリークラブ）は1920年設立。

当時の日本はロータリーが拡大するには“難しい文化圏”と考えられていたが、わずか数年で全国に拡大し、アジアの拠点に。

※現在、日本のクラブ数は世界トップクラス（約2,200クラブ以上）。